

2019. 05. 27

(敬称略)

2018年度、時事問題市民学習会報告書

財団からのご指導に鑑み、今年度からは、テーマをいくつかのグループに分けて、このグループ毎に学習を深めるように学習会を開催する。

I. 実施事業と参加者数

■■ 1. 「憲法と人権」

第一回【1-1 「皇位継承とは何か。－その本質と問題点を学ぶ】

2018年5月18日 島薗 進（上智大学神学部特任教授・グリーフケア研究所所長）

－ 参加者 18名

第二回【1-2 「沖縄の今—辺野古、高江の現状】

8月27日 金井 創（沖縄、日本基督教団 佐敷教会牧師）

－ 参加者 16名

第三回【1-3 「憲法と国民投票の在り方—その本質と問題点を学ぶ】

10月26日 伊藤 真（伊藤塾塾長）

－ 参加者 15名

■■ 2. 安全保障とアジア

第四回【「韓半島平和プロセスと東アジア秩序の転換】

11月15日 李 起豪（韓神大学大学院教授）

－ 参加者 10名

第五回【2-2 「日米(核)同盟—原爆、核の傘、フクシマ】

12月19日 太田昌克（共同通信社編集委員）

－ 参加者 15名

■■ 3. 繁急テーマ

第六回【3-1「在日韓国・朝鮮人の歴史と民族差別の現実—ヘイトスピーチとは何か。】

2019年1月29日 山田貴夫（『ヘイトスピーチを許さない』かわさき市民ネットワーク 事務局）

－ 参加者 17名

第七回【3-2 「沖縄の現状と今後—県民投票を踏まえて】

2018年02月28日 前泊博盛（沖縄国際大学大学・大学院教授）

－ 参加者 18名

参加者数—延べ 109名（平均 15.6名／回）

II. 収支報告（円）

| | | | |
|----|------|----------------------|-------------------|
| a. | 収入 | - 助成金 (庭野平和財団より) | 440,000 |
| | | 資料代 (参加者より 500 円／人) | 54,500 |
| | | 繰越(2017 年度より) | 73,656 |
| | | | _____ (計) 568,156 |
| b. | 支出 | - 講師謝礼 (7 名) | 245,000 |
| | | 本年度および次年度テーマの策定(2 名) | 70,000 |
| | | 会場費 (7 回) | 189,000 |
| | | 資料作成費 | 5,000 |
| | | 茶代 (7 回) | 17,226 |
| | | ボランティア食 (1 回) | 41,930 |
| | | | _____ (計) 568,156 |
| c. | 収支差額 | | 0 |

3. 感想

- a. テーマをグループごとに分けたことは、運営側として、学習会の指針をたてやすくなつたが、テーマによっては、はつきりと区分することが難しいこともあつた。
- b. 講師について：講師により話し方、資料の作り方に上手下手があったがあつたが、できるだけこちらのお願いを明確にして、レジュメの作り方(例、「A-4 2-3 枚で、できるだけ講演の流れがわかるもの。また、強調したい資料などはレジュメに明確に記載してください。」など)。パワポの資料のみで、流さないようにしていただいた。
- c. 参加者がほとんど固定てしまい、当初予定したようなこの学習会開催が、参加者からその関係者へと拡散されることがない傾向は、本年度も続いている。
- d. 主たる参加者は、立正佼成会、新宗連、WCRP 関係者、NCC 関係者がほぼ 92 % を占めた。

世話人代表 畠山 友利